

俳句プロジェクト

- 俳句作りを通して、
地域の四季の移り変わり・人とのかかわりなどに目をむけよう -

横浜市立大石台小学校 担当者：佐藤 幸江
ホームページ：http://www.netpro.ne.jp/~yukie/cec/

1 俳句っておもしろい！

(1) こんな子どもたちに...

まちの自然や生活の様子，学校生活の中で感じたことや観察したことなどを俳句にし，まわりの人やインターネットの電子掲示板を利用して読み合うことを通して，俳句で表現することの楽しさや人とコミュニケーションする楽しさを味わえる子どもたちを育てたいと考えた。

(2) こんな活用場面が！

	教室	メディアキッズ上	オフラインの会
6月	俳句日記の取り組み		
7月	暑中見舞いで俳句作り		
8月			
9月	国語『どんな言葉』の学習 秋の俳句作り		
10月	宮が瀬小に送る俳画作り	発表 高校生の絵手紙 継続して発表	 盲学校理療祭で発表 宮が瀬小学校文化祭
11月	Web 学級日誌今日の一句	↓	
12月			
1月	正月の俳句作り 学級俳句カルタ大会		札幌雪まつりで一句
2月	今後の予定 * 海外の学校との交流 * 専門家による添削		

ここでは，次のような学習場面でインターネットやコンピュータを活用している。

(a) 俳句を蓄積する = 一人一台のコンピュータや Web 学級日誌 = 一人一台のコンピュータ

本校のパソコンクラブが，「アインシュタインプロジェクト」から 20 台のノート型パソコンの寄贈を受けた。

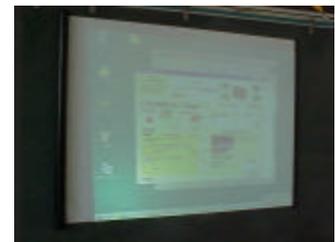


そのノート型パソコンを俳句帳代わりに使わせてもらっている。思い付いた俳句をどんどんフロッピーに蓄積していくのである。そのまま，メディアキッズにも送信することができるので，自由に「俳句作り 発表する」ということが楽しめる。

Web 学級日誌 バディ・コミュニケーション(株)

私たちが子どもの頃に紙ベースの学級日誌があったが，それを Web 上に再現したものである。日直が書くというルールなので，誰でもほぼ 2 週間に一回

はパソコンに触るようになる。それを利用して，一日の記録のところに「今日の一句」を書くようにした。いつのまにか，たくさんの俳句が蓄積されていくことになり，いつでも友だちが作った俳句を読むこともできる。



(b) オフラインの会でプレゼンテーション

盲学校の理療祭で，本学級の俳句を発表させていただいた。(株) ジャストシステムの「はっぴょう名人」に俳句を貼っていき，プロジェクタを使って視力の弱い方々にも見ていただけるように大写しにした。また，全く目の見えない方々には，読んで俳句を紹介した。いらした方々から，俳句のできだけでなく，コンピュータの操作についても聞かれたり，すごいねと誉めていただいたりして，よい経験となった。

(c)作った俳句を発表したり感想を出し合ったりする電子掲示板

インターネットの電子掲示板を利用した学校間交流プロジェクト「メディアキッズは、優しいインターフェイス・自由な雰囲気、子どもたちに人気である。今回もメディアキッズ上で自分の作った俳句を発表していた。インターネットによる時間・空間・世代を越えた交流が様々な違いを感じさせることとなり、それが刺激となって発想を豊かにしていくのではと考える

2 インターネットと俳句の相性は？

インターネットが、俳句を作る時に「読み手」を意識して作るという意欲や発想をかきたてる場になっただけでなく、「夏 秋 冬 春」と継続していく俳句を作っていく刺激ともなったことがうかがわれる。

今後は、日本に古くからある文化としての俳句そのものにも、興味をもつ子どもたちも出てくるであろう。そういう子どもたちには、インターネットを通じて俳人や俳句を愛する人々との交流などが実現できればと考えている。また、俳句は日本のみではなく、海外の俳句人口は4百万人とされているので、国際的な俳句の交流も行いたいと考えている。

マイナス2 雪像作りで あつくなる！
